



特定非営利活動法人

きんたろう倶楽部 NEWS

2024年
8月号

7/11-8/10

きんたろう倶楽部・くれは山荘で実施した活動や講座などをお知らせします

立山天空の森の整備



8月1日、立山天空の森の整備が行われました。これは富山森林管理署ときんたろう倶楽部の協定のもと、市民ボランティアによる国立公園内での整備として、移植し繁茂しすぎたミヤマハンノキ等を間伐することと、天狗平等の土砂流失を防ぐためのマルチングが主な活動です。当日はきんたろう倶楽部から12名と関係先含めて計29名で実施しました。10月も実施します。

くれは山荘森の学び舎を開催



7月27日から8月1日のうち5日間、「くれは山荘の森の学び舎」が開催されました。これは、自然に恵まれた環境の中で子供たちの健やかな成長を願い、より山荘に親しんでもらうことを目的に、くれは悠久の森連携事業として開催したものです。子供の参加はのべ39名、支援・協力者を含めるとのべ89名の参加です。当日は学習支援として、富山大学、富山国際大学の学生さんの指導で宿題や問題のヒントなどの支援を実施し、また学びのきっかけとなるよう、ネイチャーゲーム、森のクラフト、植物観察会を実施しました。

昆虫採集をして標本をつくろう



7月20日と8月3日、「昆虫採集をして標本をつくろう」を開催しました。定員を超えるお申込みで抽選となりましたが、2日間で親子56名、支援4名、計60名の参加がありました。当日は呉羽の森の紹介から昆虫の生態、昆虫標本の大切さ等を紹介ののち、昆虫採集・標本づくりに挑戦しています。目当てのチョウ・トンボなどを採取し、きれいな標本にする方法、昆虫の観察の仕方などを紹介しました。



竹の連続講座 タケを学ぶ



7月14日くれは山荘で、とやまの竹を考える会、バンブーセーブザアースとの共催で、自然保護協会副理事長の大宮徹氏による竹の講座を開催しました。参加者は20名です。竹林の拡大状況や生存戦略を詳しく教えていただいたのち、竹林で実際の生態を観察しています。竹の皆伐が逆に竹の若帰りを助けることになること、若竹やササの管理皆伐を徹底しないと、数年後にはまたもとの竹林に戻るなど、今後の整備にむけての留意事項などを学びました。

里山森林整備を実施しています

その他、今月は以下の森づくり整備を実施しています。

- 7/11 茶屋町民地の竹林整備
- 7/15 立山町民地の竹林整備
- 7/22 わくわくの残竹の処理